

地質エンジニアリングコース修了要件表 2011年度改訂版（2012年度微修正）

●本表の適用開始は、平成23年度にコース分けする3年生からとする。ただし、学習・教育目標（H）の「総合評価方法および基準」のうち※印欄については平成23年度以降の入学に適用。

- 人文社会・教育科学分野の科目：12単位以上
 - 地質科学科の専門教育に関する科目以外の数学・自然科学・技術分野の科目：4単位以上
 - 教養教育に関する科目の英語科目および初修外国語科目：8単位以上（英語・初修外国語をそれぞれ2単位以上）
 - 教養教育に関する科目の体育実技：1単位以上
 - 上記の合計：25単位以上 ※この表では、上記の科目を総称してG科目群と呼ぶ。
 - 地質科学科の専門教育に関する科目の必修・選択科目の合計：64単位以上
 - 教養教育に関する科目および専門教育に関する科目の中から：17単位以上
 - 教養教育に関する科目および専門教育に関する科目の合計：124単位以上
- ただしこの124単位には、教職に関する科目、博物館に関する科目、副専攻入門科目、留学生センター開講科目は含まない。

本コースの修了には、上記の条件をすべて満たした上で、下表に示す基準を満たすこと。

※下表の「科目群」の意味の説明

- A：必ず履修しなければならない、かつすべてのA科目群の成績の単純総平均点が70点以上でなければならない。
- B：ひとつの科目グループから一定以上の数の科目を単位取得しなければならない。
- C：その科目グループから一定以上の科目を単位取得し、その成績の単純総平均点が70点以上でなければならない。
- D：その科目グループのすべての科目を単位取得しなければならない。
- E：必ず履修しなければならない、その科目グループの成績がすべて良以上でなければならない。
- F：必ず履修しなければならない、その科目グループの成績がすべて優以上でなければならない。

コースの学習・教育目標	達成度評価対象（科目名）	科目群	単位数	総合評価方法および基準			
(A) 良識ある技術者に必要な人文社会科学などの基礎および語学・コミュニケーション能力を修得する	(上記のG科目群)	G	21以上	上記に規定の単位を取得すること			
(B) 岩石・鉱物・地層の物質的性質について理解し、知識・技術を修得する	地学基礎A	A	2	左記の科目すべてを単位取得し、かつすべてのA科目群の成績の単純総平均点が70点以上であること			
	岩石学A		2				
	岩石学B		2				
	岩石学実験I		1				
	岩石学実験II		1				
	鉱物学A		2				
	鉱物結晶学実験	1	B	左記科目のうちから2科目以上単位取得すること			
	鉱物学B	2					
	固体地球化学	2					
	海洋地質学	2					
	地層学B	2					
	地球物理学	2					
(C) 岩石・鉱物・地層の歴史的性質について理解し、知識・技術を修得する	地球化学分析法	A	1	左記の科目すべてを単位取得し、かつすべてのA科目群の成績の単純総平均点が70点以上であること			
	水質化学分析法		1				
	地学基礎B		2				
	地層学A		2				
	古生物学A		2				
	地史学原理		2				
	地史学A	2	B	左記科目のうちから2科目以上単位取得すること			
	地史学B	2					
	構造地質学	2					
	テクトニクス	2					
	野外実習II	2					
	古生物学B	2					
(D) デザイン能力の一環をなす、社会の要請への地質科学の対応についての理解を深めるとともに、技術者倫理を修得する	古生物学実験	B	1	左記科目のうちから2科目以上単位取得すること			
	古無脊椎動物学実験		1				
	東アジアの地質形成史 ※2		2				
	地質構造解析法		1				
	環境地質学A		2		C	左記科目のうちから2科目以上単位取得し、その平均点が70点以上であること。	
	環境地質学B		2				
	第四紀環境学	2					
	資源・環境地質学	2					
	地学基礎C	2	D	左記科目すべてにおいて単位取得すること。			
	石油地質学	1					
	土木地質学	1					
	技術者倫理に関する科目（※注1）	1または2					
環境地質学実習	1						
応用地質学実習	1						
(E) 野外の地質に関するデータ取得とまとめの基本的技術を修得する	地質調査法基礎I	E	1	左記科目すべてにおいて良以上の成績であること			
	地質調査法基礎II		1				
	野外実習基礎		1				
	地質調査法I		2				
	地質調査法II		2				
	地質調査法実習I		1				
	地質調査法実習II		1				
	野外実習I		1				
(F) 野外の産状に密着した地質学的課題を解決する計画を立案し、複数の解決策や与えられた制約を考慮したうえで計画的・自主的に情報を取得し、総合的に解析する。これらを通じ、デザイン能力を修得する	野外実習III	F	4	左記科目すべてにおいて優以上の成績であること			
	課題研究		10				
	セミナー		2				
(G) 収集した情報を整理・再構成して自ら表現する能力を修得する	地質科学学習法（スタディスキルズ）	A	2	左記の科目すべてを単位取得し、かつすべてのA科目群の成績の単純総平均点が70点以上であること			
	地学英語		1				
	コミュニケーション実習		1				
(H) 広範な問題解決のために、自然科学の多様な分野の基礎を修得するとともに、地質科学の先端のトピックを理解する	地質科学科の専門科目以外の理科・技術科目（※注2）	B	4以上	左記科目から4単位以上取得すること			
	情報系科目		1または2		左記科目から1科目以上単位取得すること		
	数学基礎A、B、統計学基礎、物理学基礎A、B、C、物理学入門、化学基礎A、B、C、生物学基礎A、B		各2			左記科目から合計10単位以上取得すること。ただし数学（統計学含む）、物理学、化学、生物学の各分野からそれぞれ2単位以上を必ず含むこと	
	地球科学特別講義I、II		1				左記科目から2科目以上単位取得すること（技術者倫理科目を除く）

注1 通常は「地球科学特別講義III」として3、4年生向けに開講

注2 Gコード科目および他学科学科目から選択。ただし、2科目目以降の情報科目および9科目目以降の自然系共通基礎科目からも選択可。